

活 動 報 告

大阪市における「市民の市民による市民のための地域運営」に
向けた取り組みの事例

2008年5月

社団法人関西経済同友会
市民会議推進委員会

平成19年度 市民会議推進委員会 活動報告 目次

【活動総括】	…… P 1
【活動報告】	
1. 活動状況	…… P 5
2. 東成区「ふれ愛パンジー運営委員会」	
(1) 東成区の取組概要	…… P 7
(2) 東成区の取組の評価と展望	…… P 8
(3) 大阪市「カイゼン甲子園」での表彰	…… P 9
3. 浪速区「『なにわの日』実行委員会」	
(1) 浪速区の取組概要	…… P 10
(2) 浪速区の取組と展望	…… P 11
(3) 「なにわの日」実行委員会名簿	…… P 12
4. 平成19年度 市民会議推進委員会 正副委員長およびスタッフ名簿	…… P 13

「平成19年度 市民会議推進委員会」活動総括

1. 「市民の自立と社会参画委員会」（平成18年度）での提言

活力ある大阪を新生するためには、行政サイドの改革とともに市民サイドの改革、即ち市民の積極的な社会参画が欠かせないとの認識に立ち、関西経済同友会では、平成18年5月に「市民の自立と社会参画委員会」を新設し、關前大阪市長をはじめとする行政、大学、NPO、地域団体など各種団体のヒアリングおよび大阪ボランティア協会、大阪市市民局との勉強会を実施した上で、提言「『市民の市民による市民のための地域運営』を実現するために、新しい住民組織（市民会議）をたちあげよう」を発表した。

本提言については、あらゆるステークホルダー（市民をはじめ企業市民、ボランティア団体、NPOなど）が集い、地域の情報を共有して、課題を議論し解決に向けて取り組んでいく場として「市民会議」を立ち上げることを柱とするもので、合わせて各種市民活動の活性化策を盛り込んだものである。

2. 「市民会議推進委員会」としての取り組み

2年目にあたる19年度においては、提言内容の実現、即ち「市民会議（新しい市民活動のプラットフォーム）」を立ち上げるべく、名称を「市民会議推進委員会」と改め、大阪市、各区と協働で取り組んでいくこととした。

まず、大阪市（京極前経営企画監ほか）、各区（東成区をはじめ5区）のヒアリングを行った上で、協働のターゲット（重点モデル地区）を東成区と浪速区とし、両区において重点的に提言内容の実現へ向けた働きかけを継続してきた。

3. 東成区での取り組みと成果

（1）東成区における市民協働の「場」の形成

東成区については、市民が主体となって地域参画活動を推進する場として「参画協働センター」の開設を目指し「参画協働センターをいっしょにつくろう会」（現名称は「ふれ愛パンジー運営委員会」）を昨年8月に発足、20名にもおよぶ熱意ある市民有志、企業の代表者が集いセンターのあり方について20回以上にも渡る熱心な議論を続け、3月23日に「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」（旧名称「参画協働センター」）をオープンさせた。

「市民会議推進委員会（以下、当委員会という）」としては、「つくろう会」が発足した後の初期の段階から毎回会議に参加し、センター開設を担うコアメンバーの一員として、「市民参画推進の場」であるセンターの本来あるべき姿について、提言内容にそった発言を繰り返し行い、提言内容の実現へ向けた啓発活動を継続してきた。

東成区の「参画協働センター」設置へ向けた取り組みについては、大阪市「カイゼン甲子園」で約420件中、第2位の優秀区役所賞に選ばれ、市民参画の先進的な取り組みとして高い評価を得るに至っており、3月10日には、特別に平松大阪市長と「つくろう会」のコアメンバーが面会する機会が設けられた。当委員会スタッフ（1名）も「つくろう会」のメンバーとともに、この大阪市長との面会に参加、また、3月23日の「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」のオープン式典には山中委員長が「つくろう会」から招待を受け参列するなど、関西経済同友会がセンター開設の一翼を担ってきたとの位置づけがなされており、「市民会議」の推進を図る当委員会として、一定の成果を上げることができた。

（２） これからの東成区の市民活動への期待

今後、「ふれ愛パンジー運営委員会」（旧名称「参画協働センターをいっしょにつくろう会」）は、地域振興会や既存団体の枠を超えた東成区全体の市民活動をネットワークする中心的な存在となるべく、それら各種団体との連携を深めて、当委員会が意図する「市民会議」と同等の組織に発展していくことが期待される。器の完成に満足することなく、「ふれ愛パンジー」が所期の目的である市民の地域活動プラットフォームとなり、「まちづくりに取り組む市民ネットワーク形成の拠点」として機能するよう、東成区だけでなく、大阪市としても「ふれ愛パンジー」の動向を注視し、支援を続けていくことが望まれる。そして、東成区におけるこうした「市民の地域活動プラットフォームづくり」が、全国的にも先進的な取り組みとして認知され、全国の手本として注目されていくことを期待する。

4. 浪速区での取り組みと成果

（１） 浪速区民を社会参画の場に登場させるしかけとしてのイベント

一方、浪速区においては、人口流動が大きいこと、地域振興会への加入率と各選挙の投票率が極端に低いことなど、都心部の中心商業地に特有の地域環境にあることから、まずは市民の地域活動への関心を高め参画につなげることから始める必要があった。

そのため、こうしたことを目的として、昨年（平成19年）より7月28日を「なにわの日」とし7月に関連のイベントを開催している。

本イベントの実行委員会には、高島屋、クボタ、南海電鉄といった大企業が参画しており、当委員会としては、大阪市中心地区における市民参画の推進、大企業の地域活動参画のモデルケースとして、浪速区と協働で「なにわの日」実行委員会を軸として新しい市民活動のプラットフォームの形成に取り組むこととした。

定期的に行われる実行委員会に参加し、「なにわの日」を契機としてマッチングなどにより市民の社会参画が促進されていくことの重要性について発言するとともに、将来的にはこうした動きにとどまらず、あらゆるステークホルダーが集い地域の活性化策など諸課題について議論していく会議を目指していくべきである、との提言を行った。その内容は、実行委員会の各メンバーおよび区役所の理解を得、委員会として目指すべき姿を共有化するに至っている。

（２）これからの浪速区の市民活動への期待

今後、浪速区には、社会参画に乏しい都会的市民が参画の場に導かれるよう更に積極的に取り組むことが求められ、そのためにも、イベント開催を契機に社会参画の風土形成を推進し、市民が議論するプラットフォームとしての機能、即ち「市民会議」機能を更に強化していくことが望まれる。

5. 大阪市への働きかけと成果

平成19年度には、大阪市松島市民活動担当部長を招いての勉強会、平成19年11月には、大阪市村上市政改革室区政改革担当部長、山本東成区長、横関東淀川区長を招いて講演会を開催するなど大阪市との意見交換を行うことを通じて、大阪市に対し市民参画関連施策により積極的に取り組むよう働きかけを行ってきた。

平成20年度予算案において、市民参画関連施策に対し平成19年度実績を上回る予算配分がなされており、当委員会における大阪市への働きかけが一定の成果をみたものと思量する。

なお、3月23日の「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」開業式典の際に東成区役所において山中委員長が平松大阪市長と対談を行い、その中で19年の提言書を手渡しつつ、市民の自立と社会参画を促す施策を更に促進すべきとの提言を行った。市長からは、市民参画推進の必要性を十分に認識している旨の発言があった。

6. 今後の課題

大阪市24区では、それぞれの特有の地域環境に応じて、独自のテーマに特化した事業を展開し、市民参画による地域活力の向上を図ってはいる。しかし、東成区の「ふれ愛パンジー」のような市民の地域活動プラットフォームづくりが、真の意味での市民参画を実現するために最も重要である。

今後各区において、こうした認識に立って、いろいろなステークホルダーが集い地域のあり方や課題について議論し行動していくための基盤整備、プラットフォームづくりが体系的かつ継続的に推進されることが求められ、そこでの市民の活躍が期待される場所である。

そのためにも、大阪市24区が相互に啓発しあい協働して、東成区の「ふれ愛パンジー」を手本とし、市民が主役となって主体的・積極的に地域の問題を協議する場が設けられるよう、先進的な取り組みを横に広げていかなければならない。

また、大阪が活力ある新生を果たすためには、各区へのリーダーシップを大阪市の発揮し、各々の取り組みの区外への拡大や有機的な結合などを通じて、大阪市全体として市民主導による地域活性化の質・量両面での底上げを図ることが、課題であると言える。

7. 大阪市への期待

過日、小嶋・齊藤 代表幹事が平松市長を訪問、市長への提言を手渡し意見交換した際、平松市長から昨年度の提言を評価するとともに、各区においても独自の形で市民参画による地域活性化の動きが生まれ始めているとの説明があった。

市長は就任以来市民目線からの市政を目指す決意を表明されており、市政トップのリーダーシップによりこれら各区での動きを更に大きな市民参画の潮流へと高めていくことが期待される。また、過日（平成20年4月1日付）の大阪府役所の異動において、京極前経営企画監が市民局長に、東成区で「ふれ愛パンジー」の開設を主導してきた山本前区長が市民局市民部長に就任されたことは、大阪市において市民参画による活性化がこれまで以上に力強く推進されるものと期待される場所である。

なお、関西経済同友会では、企業による地域協働活動への積極的な参画による「企業市民」としての社会参画を推進するとともに、大阪市との協働関係を維持・強化して、市民サイドからの大阪市活性化へ向けた活動推進を支援していかなければならない。

以上

【活動報告】

1. 活動状況

平成19年

- ・ 6月7日 大阪市市民局松島部長 訪問
- ・ 6月22日 正副委員長会議
「本年度の活動方針について」
- ・ 6月26日 大阪ボランティア協会 早瀬 事務局長ヒアリング
- ・ 6月29日 幹事会にて、平成19年度活動方針を報告
- ・ 7月2日 淀川区役所ヒアリング
- ・ 7月9日 西淀川区役所ヒアリング
- ・ 7月31日 浪速区役所ヒアリング
(・8月1日 東成区第1回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催)
- ・ 8月7日 京極 務 大阪市経営企画監との意見交換
(・8月21日 東成区第2回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催)
- ・ 8月22日 東成区役所ヒアリング
 - ・ 9月7日 東成区役所(市民協働参画担当課長)と協議
 - ・ 9月9日 浪速区 区民祭り開催
 - ・ 9月11日 東成区第3回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催 (参加の初回)
- ・ 9月12日 スタッフ会
「今後の取り組みについて」
- ・ 9月27日 正副委員長会議
「これまでの活動経過と今後の取り組みについて」
 - ・ 9月27日 東成区第4回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
 - ・ 10月1日 東成区「ものづくりパートナー会議」(第1回)開催
 - ・ 10月5日 住之江区ヒアリング
 - ・ 10月6日 浪速区、西区、大正区合同の未来わがまち会議開催(三区合同イベント「三区物語」の後)
 - ・ 10月9日 東成区第5回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
 - ・ 10月10日 浪速区と協議
 - ・ 10月11日 住之江区「住之江まちづくりフォーラム」開催
 - ・ 10月15日 東成区「ものづくりパートナー会議」(第2回)開催
 - ・ 10月16日 東成区第6回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
 - ・ 10月29日 東成区「ものづくりパートナー会議」(第3回)開催
- (10月30日 関西経済同友会「大阪市政に関する政策討論会」開催)
 - ・ 10月30日 東成区第7回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
 - ・ 11月6日 東成区第8回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催(「ものづくりパートナー会議」の第4回と合同)
 - ・ 11月7日 浪速区と協議
 - ・ 11月7日 浪速区「『なにわの日』実行委員会」開催
- ・ 11月9日 { 講演会・「大阪市の区政改革および区民参画への取り組みについて」
…大阪市市政改革室区政改革担当部長 村上 栄一 氏
・「東成区における具体的取り組み」…大阪市東成区長 山本 晋次 氏
・「東淀川区における具体的取り組み」…大阪市東淀川区長 横関 稔 氏
意見交換会
「大阪市における市民の自立と社会参画、市民会議について」
 - ・ 11月13日 東成区「ものづくりパートナー会議」(第5回)開催
- (・ 11月18日 大阪市長選挙 投開票)

- ・11月20日 東成区第9回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
- ・11月27日 東成区第10回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
- ・12月11日 東成区第11回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
- ・12月26日 浪速区と協議

平成20年

- ・1月8日 東成区第12回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
- ・1月14日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」活動（東成区成人式での参画登録活動）
- ・1月22日 東成区第13回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
- ・1月30日 浪速区『なにわの日』実行委員会開催
- ・2月6日 東成区第14回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
- ・2月11日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」イベント部会開催
- ・2月18日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」イベント部会開催
- ・2月19日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」総務部会開催
- ・2月26日 東成区第15回「参画協働センターをいっしょにつくろう会」（全体会）開催
- ・2月26日 浪速区『なにわの日』実行委員会開催
- ・3月4日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」イベント部会開催
- ・3月9日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」イベント部会開催
- ・3月10日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」主要メンバーと平松大阪市長の懇談会開催
- ・ **3月13日 スタッフ会 「平成19年度活動報告とりまとめについて」**
- ・3月13日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」施設内覧会
- ・3月18日 浪速区『なにわの日』実行委員会開催
- ・3月20日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」式典準備
- ・3月22日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」式典準備
- ・ **3月23日 「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」オープン式典**
山中 諄 委員長が参加し、平松邦夫 大阪市長と懇談（昨年の提言を再度確認）。
- ・3月31日 東成区「参画協働センターをいっしょにつくろう会」開催
※「参画協働センターをいっしょにつくろう会」の名称を「ふれ愛パンジー運営委員会」に変更。
- 〔 **4月 3日 関西経済同友会 小嶋淳司・齊藤紀彦代表幹事が、平松邦夫 大阪市長を訪問。**
「平松大阪市長への要望」を手渡す 〕
- ・4月7日 東成区「ものづくりパートナー会議」開催
- ・4月8日 浪速区『なにわの日』実行委員会開催
- ・4月14日 東成区「ふれ愛パンジー運営委員会」開催
- ・ **4月18日 正副委員長会議**
「平成19年度活動報告とりまとめについて」
- ・4月28日 幹事会にて、平成19年度活動報告および「平松大阪市長への提言」を審議
- ・5月 8日 平松邦夫 大阪市長と面談。提言を手渡す。
大阪市市民局幹部と懇談。

2. 東成区「ふれ愛パンジー運営委員会」

(1) 東成区の実組概要

関西経済同友会「市民会議推進委員会」は、重点モデル地区として大阪市東成区での市民の協働参画に注目し、以下のとおり取り組みを行った。

市民会議に相当する東成区「ふれ愛パンジー運営委員会」において議論されてきた一定の成果として、以下のとおり、その活動を行う場である「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」が3月23日（日）にオープンした。

※「ふれ愛パンジー運営委員会」の開業までの名称は「参画協働センターをいっしょにつくろう会」で、また「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」の開業までの名称は「参画協働センター」。

ア、具体的取組

東成区との「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」の設置へ向けた協働の具体的取り組みは、平成19年8月22日に東成区役所にスタッフ・ヒアリング以降、次のとおり。

1	「参画協働センターをいっしょにつくろう会」への陪席など、実態把握	委員長会社スタッフは「参画協働センターをつくろう会」に第3回目以降毎回陪席して会議に参画し、その都度主要メンバーと意見交換。
2	「参画協働センター」の運営ルール、運営体制についての研究	会議あるいは意見交換の場において、会議のあるべき姿など提言内容を紹介し、適宜方向性などを提案。
3	「参画協働センターをいっしょにつくろう会」主要メンバーとの意見交換（及び、本委員会の提言内容を「参画協働センター」の運営に反映させるよう働きかけ）	それらを通じて委員長会社スタッフは、「参画協働センターをいっしょにつくろう会」の進捗状況を常にフォロー。 なお、平成19年8月に開始した「参画協働センターをつくろう会」（全体会）は17回開催。（20年4月18日現在式典準備関係はそのほか7回程度開催。）
4	「参画協働センター」設置に関して、同友会として可能なサポートの実施（活動内容の広報活動など）	東成区山本区長の講演会の実施と、公演内容の会報掲載

※ 東成区役所スタッフ・ヒアリング（19年8月22日）のメンバーは、大阪市が東成区・山本区長、市政改革室・村上部長、経営企画室・宮地部長、市民局・松島部長、東成区・高橋課長、金谷課長で、同友会が金子副部长、向井部員、委員会スタッフ8名。

イ、「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」のオープンについて

(ア) 概要

「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」とは、東成区民（在住・在勤）、既存団体（青少年指導、PTA、婦人会、老人会、社会福祉協議会、地域振興会等）、NPOや企業市民などが協働参画を行う場のこと。東成区役所が場所（区役所庁舎の1階）を提供。

運営主体は区民で構成される「参画協働センターをつくろう会」から発展した「ふれ愛パンジー運営委員会」で、その内容や方法等の詳細は現在協議中。その場合、「ふれ愛パンジー運営委員会」は、関西経済同友会「市民会議推進委員会」が提唱する「市民会議」に近い形態となる。

(イ) 場所

大阪市東成区役所1階（大阪市東成区大今里西2丁目8番4号 〒537-8501）

（大阪市営地下鉄・千日前線・今里筋線「今里駅」より徒歩3分）

(ウ) 開業等

平成20年3月23日（日）開業。朝9時よりオープン式典を開催。その後コーラス、物産展などを開催。平松・大阪市長が式典に出席し、司会進行も担当。

(2) 東成区の取組の評価と展望

東成区「ふれ愛パンジー運営委員会」（「参画協働センターをいっしょにつくろう会）」について、市民会議としてあるべき姿の項目ごとの評価、会議の現状と将来展望などは、以下のとおり。

No.	市民会議としてあるべき姿の項目	東成区の取組状況 と 今後の方向性	
		評価	会議の現状と将来展望など
1	市民や各種団体に広く門戸が開かれているか。	◎	東成区のホームページなどで常時入会を公募するなど、区民に広く門戸が開かれている。途中参画の区民が実際常に存在している。
2	基本的な考えを協議して打ち出す場を大切にしているか。 具体的施策の実施を主体としていないか。	○	現時点は、区役所1階の場所（「ひがしなり市民協働ステーション『ふれ愛パンジー』」）についての施設面の協議がどちらかというところ。メンバーは施設の運営方法、そこで行う催しや集まりを検討しつつあるが、現時点未完成。 更には、区内の様々な集まり・団体の中心的存在となることについて、視野には入れているが、その内容の協議は現時点不十分。
3	市民が主体となっており、区役所（市当局）の関与の方法が適切か。 （会議の開催、検討課題や結論を区役所・市当局は押し付けていないか。区役所・市当局は協議の場を適切に提供しているか。）	◎	市民が主体となっており、区役所（市当局）の関与の方法は適切。 東成区役所は、会議の場の提供、議事録の連絡、議論が促進する配慮、メンバー間の連絡、活動する場（センター）の提供など、活動する市民を主体とし活動が促進されるよう可能な限り最大限の配慮を行い、実際に活動している。
4	会議の自主性が尊重されているか。また、参加市民の自主性が尊重されているか。	◎	座長は会のメンバー（区民）で、会議の進行や決定事項は座長を中心にメンバーが決めており、会議の自主性は十分に尊重されている。区役所は会議の意思や方向性を尊重している。
5	企業は参画しているか。また、企業参画の方法は確立しているか。	△	区役所は、施設（センター）整備に当たって企業（名称は「ものづくりパートナー」）を一般公募し、応募企業（8社）は施設への物品の無償提供により参画している。 しかし、企業市民として会議に参画することについて、会議はそれを視野に入れているものの、現時点は参画に至っていない。なお、参画を希望する企業はない。
6	地域振興会の位置付けは適切か。（地域振興会に頼りすぎず、門戸を市民や各種団体に広げているか。）	○	地域振興会の意向や存在は会議に対して何ら影響を及ぼしていない。 ただし、現時点では会議の活動を本格的に行っているわけではないので、地域振興会との接点はほとんど存在していない。
7	NPOなど地域振興会以外の各種団体は参画しているか。また、地域振興会以外の各種団体が参画する方法が確立しているか。	○	各種団体は、団体として会議に参画していない。 しかし、会議のメンバーは、ほとんどが青少年指導、PTA、婦人会やNPOなどの各種団体で、長年既に活動している人で、メンバーが主要な各種団体のパイプ役を行ったり、自ら所属する団体の実情を訴える場合もあるので、各種団体は緩やかに参画している状態が現状と言える。
8	定期的に会議を開催しているか。 会議で議論した内容（及びその結果など）を広く市民に知らせているか	◎	1～2週間に1度の割合で定期的に会議を開催している。会議で議論した内容は、東成区役所のホームページでその都度公開している。ただし、会議の出席者数は全体約30名（常時増減）の内5～9名と少なく、常にメンバーの全員が出席しているわけではなく、また、出席者は固定化する傾向にある。

(3) 大阪市「カイゼン甲子園」での表彰

平成20年2月、大阪市「カイゼン甲子園」(職場改善運動事例発表会)の選考があり、約420件の中から、東成区の参画協働センターの取組みが第2位の「優秀区役所賞」に選ばれ表彰された。

第1位の「グランプリ」は都市整備局のポータルサイト・ブログであった。

※「カイゼン甲子園」について

- ・概要 大阪市の職場改善の発表会で、各職場の職場改善事例を全庁的に共有し、大阪市を高いパフォーマンスが発揮できる組織としていくことが狙い。市長・副市長ほかが審査員となり、優秀な改善事例にグランプリなどの賞が与えられる。
- ・趣旨 ① 大阪市では、職員一人ひとりが自らの仕事の価値と意味を確認するとともに、職場における課題を自ら発見し、積極的に課題を解決する力を高めるために「職場改善運動」に取り組んでいる
 ② カイゼン甲子園は、大阪市各職場で取り組む「職場改善運動」を全庁的に共有するための事例発表会
 ③ カイゼンによって市民サービス、業務効率の向上、コスト削減等につなげる
 ④ カイゼン事例の発表機会を通じて、大阪市職員の更なる能力と士気の向上を図る
 ⑤ 大阪市職員の意識改革のきっかけとし、優れたカイゼン事例の共有によって「カイゼンすることがあたり前」の風土を組織に根付かせる

※最終選考の「センバツ事例」に選ばれた13件とその概要は、次のとおり

	所 属	取り組み内容 (要約)
1	生野区役所	防災担当職員とともに地域をパトロール
2	住之江区役所	窓口番号札に各種サービスを掲載 ちわ型の番号札も考案
3	ゆとりとみどり振興局 天王寺動植物公園事務所	ゾウ糞を有機堆肥に加工し、市民に配布して大阪の緑を増やす活力剤に
4	東成区役所	「ひがしなり区民参画協働センター(仮称)」を公募した市民が一から討論 区役所が案を作ったり調整したりせず、真の市民手作りで本当の討論を推進。
5	消防局 (港消防署地域担当)	「みなとジュニア防災体験証」などを発行し、子ども達の防災体験受講を促進
6	天王寺区役所	職員による区内清掃活動など、まち美化活動を推進 ロビーに絵本棚
7	水道局 (施設管理担当)	新開発のアダプター 安全性が向上し、コストダウンも達成
8	東住吉区役所	安全安心なまちづくりに取り組む「なでしこラビット隊」による区民の防犯意識の向上 地域行事に積極的に参加 公園遊具の点検、幼稚園児との花の植替えなどを実施
9	健康福祉局	職員がいつでもアクセスできるサイトを新設 事務連絡、疑義問答などを掲載 専門的業務をサポートするとともに、健康福祉局の生活保護担当への問い合わせ電話を減らし、負担を軽減。
10	こども青少年局 子育て支援部保育指導担当	食育体操のDVD・CD を制作 食育推進のオリジナルキャラクターも作成
11	環境局 (中部環境事業センター)	保育園児による「一日所長」 安全をさらに意識
12	城東区役所	筋力づくり運動 高齢者が介護予防に早期に取り組む
13	都市整備局 企画部 事業管理担当	庁内ポータルサイトに「都市整備局リンク新聞」 大阪市ホームページなどから注目すべき情報に、わかりやすくコメントを付してリンクで紹介 ブログコーナーも設定し意識共有と職員のモチベーションアップに

3. 浪速区『なにわの日』実行委員会

(1) 浪速区の実組概要

関西経済同友会「市民会議推進委員会」は、重点モデル地区として大阪市浪速区での区民の社会参画を促進策に注目し、以下のとおり取り組みを行った。

ア、具体的取組

浪速区では、区民の社会参画促進を、「なにわの日」イベントの企画、実施及び参加を通して、行っている。

「なにわの日」とは、浪速区における経済、地域の活性化を目的とした区内全域での浪速区独自事業のことで、浪速区「未来わがまちビジョン」に基づき、区民・企業・行政機関が協働して「住みよい明るいまちづくり」の実現を目指して実施する催し。7月28日を「なにわの日」に設定。

平成19年は、通天閣をメイン会場としたオープニングセレモニーやジャズコンサートなど、区内各所でイベントが行われた。20年度も同様に実施予定。

※平成19年度の内容…通天閣におけるジャズライブ、湊町におけるろうそく灯火、誰もができるスポーツレクリエーションの体験・紹介、浪速人権文化センター、男の料理入門、なにわヒューマンシアターと戦争平和展、外国人学生の屋台（エール学園）、絵画展（高島屋）、大阪城の石（南海）、ホール（クボタ） など

イ、区民参画の方法について

区民参画の方法は、一般参加、全体の企画運営、又は構成イベントを通しての社会参画が考えられる。

浪速区では、選挙が行われた場合の投票率が低いなど、元々市民の社会参画が進んでいないことから、催しを通じて市民を社会参画に引き出す、マッチングを行うことを主体とした取り組みで、市民の協働を促進する。

(ア) 催し（イベント自体）への一般参加

「なにわの日」は7月28日当日、又はその前後の一定期間において、区内で様々な催しが開催される。

「なにわの日」への一般参加は、社会参画を通常行わない区民に対して、まず区の催しに引き出す契機とし、その場で地域社会の様々な問題を考えたり、社会参画の様々な場の認識を深めたりする機会を与えることにより、市民の自立と社会参画を促す。

企業市民も参画するなど、補完性の原則を発揮。

(イ) 催しを通して、地域の問題を協議し、発信すること

催し（複数のイベントにより構成）を構成する個々の催し（企画イベント）を通して、地域の問題を協議し、発信することが可能。

「なにわの日」は、大小様々なイベントを行う。ジャズやろうそくのライトアップなど、集客するイベントもあるが、区内の様々な団体の活動や発表の場をこの中で行うことも含まれる。

催しは、地域福祉を行っている団体を始め、子ども（PTA）、老人、身体の不自由な方、青少年（青指）、趣味のサークルなども、各々独自にイベント、発表会などを行うことができる。

イベントの運営主体自体が発展して地域の問題を、多くのステークホルダーや区民の参画により、協議し発信する。将来構想。まずは、個々のイベントによりスタート。なお、企業市民は、参加。

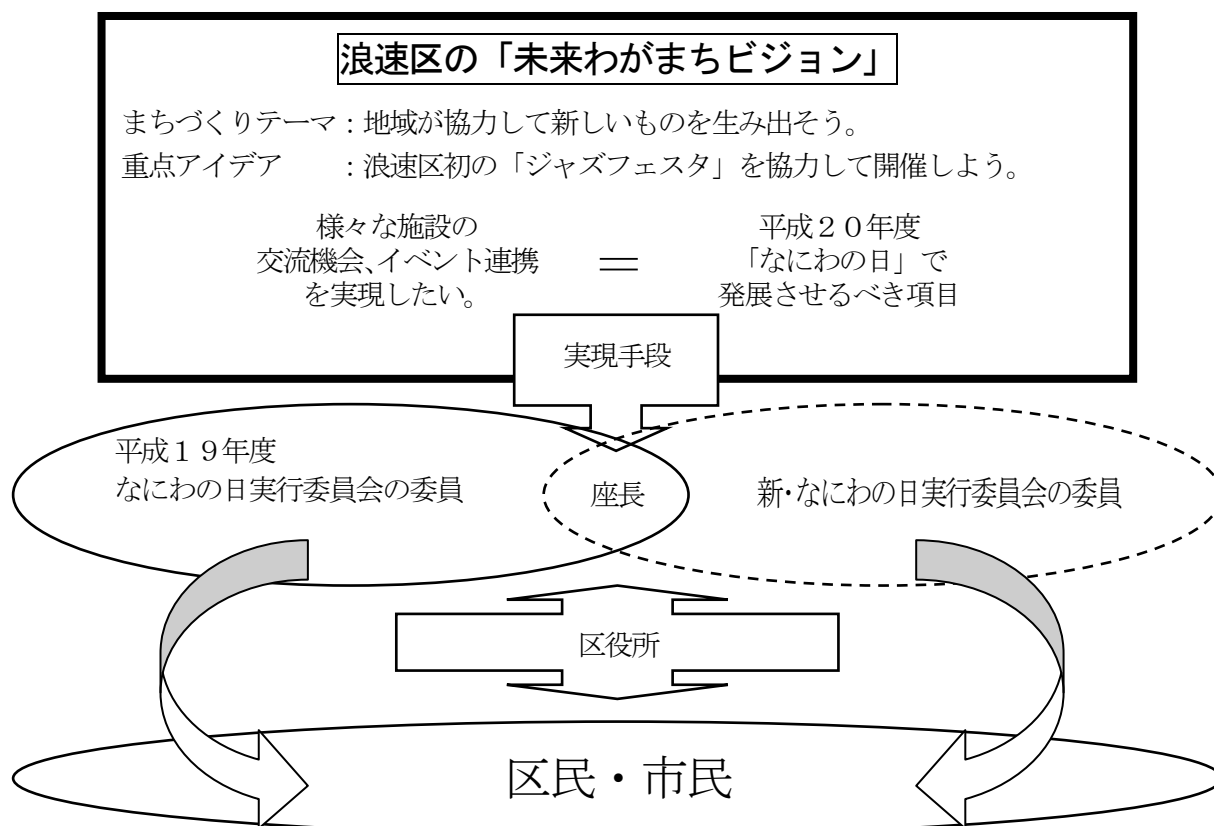
(ウ) 催し（イベント自体）全体の企画・運営

「なにわの日」イベントの運営主体自体が発展して地域の問題を、多くのステークホルダーや区民の参画により、協議し発信する。将来構想。まずは、個々のイベントによりスタート。

なお、企業市民も極力参加することが望ましい。

(2) 浪速区の実践と展望

浪速区における「なにわの日」イベントによる市民協働参画の取り組みの考え方と今後の展望について、次のとおり。



平成20年度「なにわの日」について

- ・協力範囲の広がった「なにわの日」実行委員会の中で、平成20年度の「なにわの日」をどのように展開していくか、意見交換を行う。
- ・「なにわの日」実行委員の中で座長を決め（南海都市創造株式会社）、座長を中心として「なにわの日」全体のコンセプト作りからイベント連携までを決定していく。
- ・浪速区役所は、広報活動と連携イベントを実行するための後方支援等を中心に行う。
- ・「なにわの日」実行委員会の中から出てきたアイデアを、「未来わがまちビジョン」の内容の発展に取り入れ、浪速区のホームページを通じて進捗状況を逐一区民に向けて報告。

今後の展望

……「なにわの日」による市民協働参画の促進

- ・ジャズや落書一掃などのイベントにより、区民の参加を促す。
- ・「なにわの日」の催しの中に市民活動も参画する。
- ・区民が「なにわの日」に参加することが市民の社会参画となるような仕組みを図る。
- ・これらの結果、社会参画に消極的であった都会型の市民に対しても、参画・協働を図り、この取組がすなわちプラットフォーム作りとなる。

(3) 「なにわの日」実行委員会 名簿

未来わがまち会議委員長

通天閣観光 (株)

澤野工房(有)

南海都市創造 (株) ……座長

(株) 高島屋 大阪店

浪速区商店会連盟

新世界町会連合会

日本橋筋商店街振興組合

湊町開発センター (株) (OCAT)

エール学園 (日本語メンタリング室長)

新世界アーツパーク事業事務局

(株) クボタ

(株) サンケイサービス

(財) 浪速区コミュニティ協会

浪速区社会福祉協議会

浪速人権文化センター

南海電気鉄道 (株)

浪速区役所

4. 平成19年度 市民会議推進委員会 正副委員長およびスタッフ名簿

(敬称略)

委員長	山中 諄	南海電気鉄道	会長兼CEO
副委員長	山本 雅弘	毎日放送	会長
〃	澤木 茂	テクノーブル	代表取締役
〃	田中 成人	田中会計事務所	代表
〃	細川 信義	エンゼル証券	社長
〃	有村 正意	エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西	社長
〃	鋤富 靖以	りそな銀行	専務執行役員
〃	萬浪 豊司	がんこフードサービス	専務
〃	井上 裕生	西日本電信電話	副社長
〃	安藤 温規	高島屋	副社長
〃	原田 久夫	エフエム大阪	社長
スタッフ	小林 敏二	南海電気鉄道	経営政策室経営企画部課長
〃	福地 俊明	南海電気鉄道	お客さまサービス部課長
〃	河村 盛文	毎日放送	経営戦略室長
〃	澤木 茂豊	テクノーブル	取締役
〃	川口 武史	田中会計事務所	事務局長
〃	伊藤 智允	エンゼル証券	引受審査部長
〃	数野 哲也	エヌ・ティ・ティ・ドコモ関西	秘書課長
〃	桶谷 重雄	りそな銀行	コーポレートガバナンス室グループリーダー
〃	廣瀬 茂夫	がんこフードサービス	企画部部长
〃	富森 浩治	西日本電信電話	総務部企画担当部長
〃	横山 和久	高島屋	大阪店営業企画担当
〃	小林 基宏	エフエム大阪	取締役管理局長兼総務部長
代表幹事スタッフ	野田 通夫	がんこフードサービス	企画部長
〃	寺島 修	関西電力	秘書室リーダー
〃	多木 俊介	関西電力	秘書室秘書グループ
事務局	斉藤 行巨	関西経済同友会	常任幹事・事務局長
〃	金子 秀一	関西経済同友会	企画調査部副部長
〃	向井 仁	関西経済同友会	企画調査部